



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
🌐 <https://www.nuis.ac.jp> ✉ somu@nuis.ac.jp

学報 令和4年10月15日 発行

貴重な現場を体験 学外実習 2面

フジドリーム エアラインズと協定結ぶ 2面

高校生英語スピーチコンテスト 3面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

2・3面 教員の活動

3面 軟式野球部

全国大会に初出場
新任教員紹介

4面 海外研修レポート

第29回紅翔祭開催

来場者千人超 賑わい復活



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



Instagram



Twitter
@nuis_nabbit



YouTube
公式
チャンネル

フジドリームエアラインズと協定結ぶ

本学は、地域航空会社フジドリームエアラインズ（FDA）と共同で地域活性化事業に取り



組む包括連携協定を締結しました。観光などによる地域活性化と地域経済の発展にかかわる人材育成を柱に、企画提案や情報発信を行い、新たな価値創造の実現を目指します。

共同事業で地域活性化目指す

本学ゼミ生もプロジェクトに参加

7月5日に行われた締結式には、本学から越智敏夫学長のほか佐藤泰子講師と学生10人、FDA側から楠瀬俊一社長はじめ3名が出席、来賓として新潟県観光協会からも3名が出席されました。

FDAは、北海道から九州まで全国16空港を拠点に25路線を

運航しています。新潟空港からの就航路線としては福岡線、名古屋（小牧）線があり、今年の3月からは神戸線が加わり3路線となりました。FDAはより一層の旅客増を狙い、新潟県の

観光旅程コンテンツの充実策を検討していましたが、本学と協働で進めることになり、協定締結の運びとなりました。

共同事業では現在、本学から佐藤泰子研究室の「NUIS TOURISM PROJECT

T」の学生を中心に藤田美幸研究室ゼミ生が加わり、日英2か国語による県内観光地の魅力発信や、マーケティング戦略構築などに取り組んでいます。締結式では、本学学生が新潟の観光をテーマにした企画書をもとに、プロジェクト活動への抱負を発表しました。式にはメディア関係者も出席しており、質疑応答も活発に行われました。

今後、双方で企画提案や情報発信を行いながら、新潟の新たな価値を発掘していきます。

（企画推進課）

学外実習・新潟日報社

8月18日から2日間はオンライン、22日から3日間はオフラインの計5日間、新潟日報社のインターンシップに参加させて頂きました。オンラインでは新潟日報社について概

情報伝える力の大切さを学ぶ

要説明を受けた後に、

模擬記者会見で社員の方にインタビュをさせて頂き、各々の仕事内容について理解を深めることができました。オフラインでは部署に直接伺い雰囲気を知ることができたほか、グループ

ワークや個人ワークを行いました。

その中で私が特に印象に残っている体験は、最終日に行った個人でのプレゼンです。前日に

新潟日報社が行っている「にいがた鮭プロジェクト」をより盛り上げる方法を考えるという宿題を頂きました。今までのプレゼンやグループワークでの反省を踏まえ、プレゼン資料を作成

しました。特に体験談を入れて説得力を増すことと、プレゼン資料に図を使いアイデアが視覚から伝わるように心掛けました。当日の講評では、新しいコンテンツ等の新たな広告方法を提案したことについて、おほめの言葉を頂くことができました。また他のインターン生のプレゼンを見る

ことで、多くの反省点が得られました。

インターンシップを通して、会社についての内容や雰囲気に加えて、伝える力を学ぶことができました。間違えた情報は信頼を落としかねないため、正確な情報を伝える大切さを改めて感じました。今回得たたくさんの経験と学びを、今後の就職活動に活用したいです。

（経営学科3年 齋藤有沙）



グループワークでプレゼン資料を作る齋藤さん

のデジタルアーカイブ構築を中心に」研究分担者

4) 委員・社会的活動・記事・その他

石川 洋(情報システム学科・教授)

・(2022年9月) ベータ語義・ARTICLE「情報システム教育コンテスト (ISECON) への誘いー情報システム教育の質の向上をめざしてー」『情報処理』Vol.63 No.9 (502～506頁)

佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

・(2022年5月28日～7月30日) 「新潟の隠れた宝・魅力を「英語」を通して学ぶ」新潟国際情報大学オープンカレッジ (新潟国際情報大学・中央キャンパス)
・(2022年7月5日) NUIS TOURISM PROJECT (内藤奏音、山口玲加、相澤裕花、市野瀬裕花、今田孝、齋藤生、曾山日菜子、高橋彩加、野瀬歩夢、丸山望実) と新潟県観光協会／株式会社フジドリームエアラインズ (FDA) 連携協定 締結式 (新潟国際情報大学)

藤瀬 武彦(経営学科・教授)

・(2022年7月2日・3日) 第44回北日本学生陸上競技対校選手権大会 副大会長 (札幌市厚別公園陸上競技場)
・(2022年7月9日) 第54回全日本大学駅伝北信越地区選考会 副大会長 (長野市営陸上競技場)

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

・(2022年6月7日) 2022年6月7日付『日本経済新聞』朝刊全国版「カンボジア地方選、与党「圧勝」」にコメント掲載
・(2022年9月4日) 2022年9月4日付『市報にいがた』「教えてSDGs」にインタビュー記事掲載

バル挙上能力についてーウエイトトレーニングの三大基本種目の1RM合計記録による評価ー」日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会 (順天堂大学・さくらキャンパス)

藤田 美幸(経営学科・准教授)

・(2022年9月10日・11日) 「アドベンチャートラベラーによる関係人口の創出モデルの創造」地域活性化学会 第14回研究大会 (関東学院大学)
・(2022年9月12日～14日) 特別講演「スノーボードにおいてハイパフォーマンスを実現する組織マネジメント」日本オペレーションズ・リサーチ学会2022年秋季研究発表会&シンポジウム (朱鷺メッセ)

矢口 裕子(国際文化学科・教授)

・(2022年3月20日) 「反『ヘンリー&ジュン』小説としての『ジューナ』——『人工の冬』から」日本ヘンリー・ミラー協会 (オンライン)

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

・(2022年7月16日) 「人民党体制下のカンボジアにおけるコミュニケーション評議会選挙の機能」第16回日本カンボジア研究会 (京都大学・オンライン)
・(2022年8月29日) 「カンボジアの内政と外交」外務省「日本ASEAN友好協力50周年有識者会議」第4回研究会 (国際機関日本アセアンセンター・オンライン)

3) 競争的資金獲得研究

堀川 祐里(国際文化学科・講師)

・(2022年4月より新規～2023年3月) 日本私立学校振興・共済事業団 2022年度 (第47回) 学術研究振興資金「日本資本主義と女性の社会的環境に関する総合的研究——『平塚らいてう資料』

高校生英語スピーチコンテスト

本学主催の「第8回新潟県高校生英語スピーチコンテスト」が7月24日に本校みずき野キャンパスで開催されました。このコンテストは、高校で英語を学



最優秀賞に輝いた
ストラットンさんのスピーチ

ぶ若者が世界中の異文化や諸問題への関心を高め、英語学習充実の一助となることを目的に、毎年行われるイベントです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、日頃の成果を発表する機会が少ない

最優秀賞にストラットンさん

私ができる新潟の魅力発信

ため、多くの高校生の発表の場を設けよう

と、本学が感染防止対策を施し対面で開催しました。

今年度のテーマは、「私ができる新潟の魅力発信」で、県内の高等学校・中等教育学校9校

の発表の場を設けよう

と、本学が感染防止対策を施し対面で開催しました。

今年度のテーマは、「私ができる新潟の魅力発信」で、県内の高等学校・中等教育学校9校

軟式野球部

軟式野球部は、8月21日から長野県で行われた第2回全日本大学軟式野球選抜大会に出場しました。

全国大会に初出場

初戦敗退に雪辱期す

本選手権／西日本選手権の西日本選手権で2019年に3位になったことがあり、今年度の地区大会でも本塁打を量産するなど、圧倒的な攻撃力を誇る強豪校です。

8月22日に行われた初戦では、相手の下馬評通りの打撃になす術もなく、コールド負けを喫しました。

（前主将・経営学科4年 笹川悠太）

は、西都地区代表の桃山学院教育大学でした。同大は、今大会の前身の大会である東日

快挙かもしれません。しかし、部員17人の誰ひとりそれに満足



新任教員紹介



中村 貴 なかむら たかし

国際文化学科 准教授

- 2007年 3月 西南学院大学大学院国際文化研究科博士後期課程満期退学
- 2013年 3月 西南学院大学より博士(国際文化)学位取得
- 2015年 6月 (中国)華東師範大学中国語文学系博士後期課程修了博士(文学)取得
- 2015年 7月 (中国)華東師範大学民俗学研究所博士研究員(2017年12月まで)
- 2016年 4月 西南学院大学国際文化学部非常勤講師(現在に至る)
- 2016年 4月 西南学院大学国際化研究科博士研究員(2020年3月まで)
- 2018年 3月 (中国)華東師範大学民俗学研究所専任講師(2022年9月まで)
- 2019年 4月 関西学院大学世界民俗学センター客員研究員(現在に至る)

担当科目 中国文化論
中国関係論
中国語
研究分野 中国古代史
現代民俗学

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

- 内田 亨(経営学科・教授)
 - ・(2022年4月) 高井透、内田 亨「養殖事業のイノベーションと新規事業創造：陸上養殖事業の事例を中心に」日本情報経営学会誌 第42巻第2号 (38～50頁)
- 木村 誠(経営学科・教授)
 - ・(2022年9月) 「データネットワーク効果の循環モデル-AI対応プラットフォームのデータ学習深化と境界拡大」経営情報学会誌 第31巻第2号 (59～76頁)
- 佐々木 宏之(経営学科・教授)
 - ・(2022年3月) Yoichiro Hayashi, Hiroyuki Sasaki "Effect of leaders' regulatory-fit messages on followers' motivation", Journal of Applied Social Psychology, Vol.52, No.7 (496-510)
- 佐藤 泰子(国際文化学科・講師)
 - ・(2022年6月) "Validation of the EIKEN Tests in Japanese University's English Foundation Course -A Case Study on Teaching EFL Students at NUIS" 『英語学論説資料』論説資料保存会 第6分冊第54号 (270～276頁)
- 瀬戸 裕之(国際文化学科・准教授)
 - ・(2022年7月) 「ラオス人民民主共和国-党検査機関と汚職取締機関による『三位一体』体制の形成とその課題」外山文子・小山田英治編著『東南アジアにおける汚職取締の政治学』見洋書房 (302～334頁)

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

- ・(2022年7月)「カンボジア王国-人民党支配下における汚職取締と体制維持」外山文子・小山田英治編著『東南アジアにおける汚職取締の政治学』見洋書房 (255～279頁)
- ・(2022年8月)「独裁強化と世襲に動くカンボジア政治-2022年コミュニケーション評議会のもつ意味」『IDEスクエア-世界を見る眼』アジア経済研究所 (1～15頁)

2) 学会・研究会・講演等

- 今井 裕紀(経営学科・講師)
 - ・(2022年9月3日) 古田克利「ヒューマンサービス系プロフェッショナルの向社会的価値とワーク・エンゲイジメントの関係-職務要求の調整効果に着目して-」産業・組織心理学会 第37回大会 (関東学院大学)
- 小山田 紀子(国際文化学科・教授)
 - ・(2022年6月18日)「幕末日本のフランス公使レオン・ロッシュの生涯-アルジェリア征服軍通訳から外交官への道のり-」共通演題「幕末維新期のフランス外交」日本仏学史学会 (オンライン)
- 佐藤 泰子(国際文化学科・講師)
 - ・(2022年8月4日) "The Current Status and Issues of Inbound Business in Japan with the Virus: New Challenges for Niigata Prefectural Tourism", International Conference for Media in Education 2022 in Hawaii Online @ University of Hawaii at Manoa - (Presenters of NUIS TOURISM PROJECT: Reika Yamaguchi/Yuka Aizawa/Ichi Konta/Gakuto Saito)
- 藤瀬 武彦(経営学科・教授)
 - ・(2022年8月31日～9月2日)「一般男子学生及び学生競技者における筋力評価尺度としてのパー

台北メトロ車内では、駅名アナウンスが5言語（北京語・英語・台湾語・客家語・日本語）で行われている。ところが車内で聞こえる言語はほとんど北京語ばかりだ。帰国が近づいたある日、隣に乗っていた年配の女性2人が客家語で会話していた。思わず二度見してしま

った。

郷土言語にみる台湾アイデンティティ

2015年まで台北で20年間生活したが、メトロで乗客の客家語を聞いたのは初めて。最新の調査によると、若年層で北京語以外を主要言語とする台湾人はほぼ消滅している。戦後、国民党によって北京語



台湾北部で初めて英語教育が行われた
オックスフォード・コレッジ

「台湾アイデンティティ」が高揚しているにもかかわらず、台湾語の復興が未だ実現しないのはなぜだろう。モノリンガル化が進む台湾は現在、小学校から各科目の授業を英語で行う「バイリンガル国家2030」政策を推進している。マルチリンガルな台湾で、なぜバイリンガル政策なのか。以上のような問に答えるべく、台湾北部にあり、本学の提携校である銘伝大学に昨年9月から1年間滞在した。



海外研修レポート

2021年9月より1年間、タイ王国チュラロンコン大学ビジネススクール(以下チュラ大)で研究の機会を得ました。チュラ大はタイで最も歴史ある大学で、タイの近代化に貢献したラーマ5世チュラロンコン王の名を冠名にしています。

遠隔授業・研究終え 成果を発表

そのような中、チュラ大は遠隔授業で、当初は許可証がなければキャンパス内に入構できませんでした。しかし、教職員の

方々のサポートもあり感染対策につとめながら研究を

タイ・チュラロンコン大学

経営学科 准教授 藤田 美幸

ながら研究を

化や商慣習の異なるタイでの調査研究は非常に困難を極めるものでした。しかし、地道に調査研究を続け、その成果は論文の公表や学会で発表することができました。



チュラ大ビジネススクール

第29回 紅翔祭

来場者千人超 賑わい復活



今年新設されたK-POPサークル(VVS)によるパフォーマンス

（紅翔祭 実行委員長 経営学科 3年 小林 秀徳）

今回の紅翔祭がコロナ禍の長いトンネルを抜ける光のようないイベントになったらとてもうれしく感じます。来年度以降、コロナ禍前よりも盛り上がるイベントになっていくことを願っています。最後に協力してくださった実行委員、教職員の皆様、そして来場者の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございます。

10月1、2日の2日間、第29回紅翔祭を昨年より規模を拡大して開催しました。コロナ禍以降様々な行事が中止され、無事開催できるか心配でしたが、感染症対策と並行しながら先輩や学務課など多くの方からサポートしてもらい、約1100人を超える方にご来場いただき、無事に終えることができました。

今年度は初めて前夜祭を開催して学内の雰囲気大いに盛り上げることができました。また昨年はできなかったゲストを招いたイベントも開催、タイムマシーン3号ほかにご出演いただき、食スペースには昨年以上回る模擬店が出店し、にぎやかな大学祭になりました。